17年度の補正予算を始めとす 9月定例会では、 る16議案のほか、16年度各会計決算の認定13件、 同意3件、 発議2件、 報告4件が提出されました。また、議員 意見1件が提出されました。

対・賛成の各討論が行われまし

過大な事業の呼び水となってい 難地など、 まちづくり交付金が

反対)区画整理事業、

拠点避

* * 認定① * *

三・七号の四議案について反

論が行われ、

認定第一・二・

最終日の本会議において、 本会議における主な討論

討

その主な内容をご紹介します。 九月定例会で審議した案件は、

議案の内容

治体の状況は。 的措置を行っている、 質疑)家賃滞納者に対する法 県下の自

字は議案番号)のとおりです。 七分にあります一覧表(の数

* * 73議案* * 本会議における主な質疑

* * 認定② * *

賛成する。

策が実施されていると評価し、 確保などを判断した、多彩な施 力のもと、市民ニー ズや安全の 方々や多くの団体との連携、協

対応に一定の努力は認められる 事業計画の変更が行われ、その 反対)十七年二月に第三回の

答弁)愛知県を始めとして、

岡崎市、

豊田市などで、

市と同規模の市では、十五年に して、 政状況から見て、問題があると まちづくり交付金という形で 言わざるを得ず、反対する。

ことは、

(賛成) 十六年度の主な工事と の住宅が建設されている。この 行われ、整備完了の場所では十 造が約六㎞、建物移転が十四軒 六年度末までに、新たに二百戸 整地が約十一ね、道路築 当事業の目的であり

地の完売も不透明である。 国の税金投入など、国の財 事業量の変更はなく、 ゚また、 が認められると判断し、 環境の市街地形成に大きな成果 住宅地としてふさわしい良好な

刈谷市、

十六年に半田市が始め

五年前から行っている。

本

が、

ている。

討

* * 認定⑦**

反対)本市独自の低所得者対 廃止の方向に

帯に耐えがたい負担増がかかる 策が、十六年度も減免率を一覧 と言わざるを得ず、反対する。 がるなど、とりわけお年寄り世 革の影響で国保料が連動してト 向っている。また、国の税制改 から三点縮小し、

平成16年度各会計決算の状況

計画に沿って、人づくりを基本

賛成)総合計画の五つの基本

に行政だけでなく、地域住民の

を得ず、反対する。

を後回しにしていると言わざる りをしていくのかの目的や理念 らしたいのか、どんなまちづく 削減の方向性は、市民がどう暮 たり、合併協議会の出した職員

一般会計										
歳入										
項目別	収入済額(万円)	割合(%) 前	前年比	Ij	見目別		支出済額(万円)	割合(%	5) 前年比	
市 税			03.3%	総	務	費	53億5,761.4	13.89	% 123.5%	
地方消費税交付金	12億8,567.4	3.2% 11	12.0%	民	生	費	93億7,428.7	24.1°	% 109.4%	
地方交付税	22億4,180.1	5.6%	73.0%	衛	生	費	31億8,338.2	8.2	% 97.7%	
分担金及び負担金	12億 856.8	3.0% 10	03.4%	商	I	費	14億3,648.2	3.79	% 141.7%	
国庫支出金	37億6,824.5	9.5% 11	14.8%	±	木	費	61億4,148.9	15.8°	% 94.8%	
県 支 出 金	14億3,227.6	3.6%	91.9%	消	防	費	18億5,471.7	4.8	% 107.9%	
繰 越 金	8億2,690.9	2.1% 16	66.1%	教	育	費	34億5,701.0	8.9	% 95.0%	
諸 収 入	14億5,438.2	3.6% 10	07.8%	公	債	費	60億1,016.7	15.5°	% 164.2%	
市債	78億2,600.0	19.6% 15	54.1%	諸支		出 金	11億7,797.5	3.0	% 94.7%	
そ の 他	34億4,487.5	8.6% 12	24.8%	そ	の	他	8億7,673.6	2.3	% 87.3%	
合 計	398億6,116.8	100.0% 11	11.5%	合		計	388億6,986.4	100.0	% 111.3%	
特 別 会 計										
会計名			7入済額(万円) 前年			年比	支出済額(万円	前年比		
豊川西部土地区画整理		!	13億5,572.7		107.8%		12億5,4	12億5,471.9		
豊川駅東土	引東土地区画整理 12億		12億2,	237.0	104.3%		11億7,259.6		104.7%	
公 共 下	水 道	į.	38億8,	526.2	100	0.9%	37億8,5	62.1	102.2%	
農業集	落 排 水		5,90		9	7.0%	4,9	4,956.6		
公 共 駐	車場	;	7,	219.7	11	7.1%	6,6	20.4	120.6%	
国 民 健	康 保 険	į.	94億5,943.3		104.2%		90億1,3	90億1,310.9		
老人	保 健		86億4,821		101.0%		84億9,4	84億9,471.9		
介 護	保 険		38億8,91		108.8%		38億4,623.0		110.0%	
在 宅 介	護 支 援		1億6,46		91.4%		1億5,034.2		86.8%	
土 地	取 得		5億8,65		219.4%		5億8,091.4		225.2%	
企業会計										
会計名		区分	収入済額(万円		円)	前年上	b 支出済額(支出済額(万円)		
水道	事	収益的	24億5,75		54.8	103.1	% 22億9,	22億9,383.3		
小坦	* *	資本的		4億7,35		96.6	5% 10億5,	10億5,947.4		
病 院	事業	収益的	9	3億2,95	6.5	101.7	7% 92億3,	92億3,426.2		
1四	尹	資本的		4億1.	336	78.6	8億5.	974.1	79.9%	

賛成す

報器等の設置計画は。

質疑)市営住宅への今後の警

どの市町村も厳しい状態が続い 賛成する。 保持、増進に努めている。また、 業の推進や総合データバンクの 健康づくり事業を始め、 ているが、その中で、 全な運営がされていると考え、 負担の公平性を図るための未納 者対策にも力を注いでおり、健 整備により、被保険者の健康の 賛成) 国民健康保険の財政は 国保総合 十五事

委員会審査の状況

変更の二件が付託されました。 町の廃置分合に伴う字の名称の 火災予防条例の一部改正と第70 総務委員会には、第8号議案 豊川市及び宝飯郡一宮

* * 68 議案* *

もので、煙によるイオン電流の 変化によって作動する。 煙感知 住宅用防災警報器のうち、イオ 精度的にはどちらも差がない。 器には、ほかに光電式があるが、 (答弁)「煙感知器」と呼ばれる ン化式とは、どんな警報器か。 質疑)設置が義務化された、

機種選定を実施し、設置につい 平成二十年六月一日に向けて、 ては建築課と調整中である。 (答弁) 本条例の適用日である、

> 消防、 いく たり、 られるが、市民への周知方法は。 れる自主防災会や事業所等での 用防災警報器の設置が義務づけ ページの他に、各地区で開催さ 答弁) 広報や消防本部ホーム 質疑)条例改正により、 町内会の回覧を利用して 防災訓練の機会を活用し

健康福祉委員会

議案(手数料条例の一部改正の 件が付託されました。 健康福祉委員会には、 第66号

* * 66議案* *

観点から、現在の住所順を氏 る。本市では、個人情報保護の 月日順が八市と主な状況であ 名・あいうえお順が八市、生年 帳閲覧リストの作成状況は。 十二市では、住所順が九市、 答弁)七月一日現在、県下三 質疑)県下各市の住民基本台 氏

生活文教委員会

ら変更する予定である。

の予定は。

「質疑) 小田渕公園の整備日程

(答弁) ワークショップ方式で

名・あいうえお順に十月一日か

議案 三河国分尼寺跡史跡公園 条例の制定の一件が付託されま 生活文教委員会には、 第 69 号

> の二カ年での整備予定である。 発注にかかり、今年度と来年度 の計画がまとまり次第、工事の

* * 73議案* *

⑬議案

園となるが、今後の活用方法は。 答弁)本年十一月十三日に開 質疑)本市で初めての史跡公

請求の訴えを行う基準は。

質疑) 市営住宅明け渡し等の

答弁)法的措置対象者の基準

昨年十一月作成の家賃滞納

ワーク化を図り、ウォーキング 園し、イベントや各種講座の閚 コース等に活用する。 ランドなどの周辺施設とネット 市内の歴史資産やぎょぎょ

「十二カ月以上の家賃滞納者で

整理事務処理要綱に基づき、

あること」、「家賃納付ができな

と」「家賃の納付義務観念や誠

いほどの生活困窮者でないこ

意に欠ける者であること」の三



まもなく開園

「三河国分尼寺跡史跡公園」

おいて考慮する。

については、法的措置審査会に

弱者や不慮の事故に遭った者等 つとなっている。 なお、社会的

決しました。 決算特別委員会

員全員異議なく、

全員一致で可

の二件が付託されました。

①議案

協議と第73号議案 訴えの提起 公の施設の区域外設置に関する

建設委員会には、

第71号議案

数多くの質疑が行われました。

委員会では、各款にわたり、

討論はなく、採決の結果、委

審査が行われました。

算(第三号)の一件が付託され、 議案 十七年度一般会計補正予

予算特別委員会には、

第 58 号

予算特別委員会

建設委員会

多くの質疑が行われました。 討 の審査を行いました。一般会計 件が付託され、九月二十六・1 認定から認定第13号 1号 十六年度一般会計決算の 負異議なく、 論はなく、採決の結果、 特別会計、企業会計の各会計で、 十七・二十八日の三日間で決算 **病院事業会計決算の認定の十三** 決算特別委員会には、 全員一致で認定し 十六年度 認定第